千葉科学大学看護学部看護学科・カリキュラムツリー

看護学部看護学科ディプロマ・ポリシー

1. 高い倫理観を有し、人々の多様な価値観を尊重した態度をとることができる。
2. 論理的思考力を備え、科学的根拠に基づいた看護実践ができる。
3. 地域特性を把握し、地域ケアシステムの一員として地域の保健医療福祉に貢献する看護職としての基礎的能力を身につけている。
4. 専門職として自ら成長し、常に自律的に生涯学習する能力がある。
5. 国際的な視野を持ち、地域社会の課題を解決できる基礎的能力を身につけている。
6. 問題解決に当たり、住民・当事者・保健医療福祉等の専門職と協働できる。
7. 危機管理の視点から、看護職者として安全・安心な健康生活を追究する基礎的能力を身につけている。

4年次

国際看護学
リハビリテーション看護学
看護管理学
看護学教育
看護の統合と実践演習
（卒業研究）
看護の統合と実践実習

看護の統合と実践
（看護研究方法論）

小児看護学演習
小児看護学実習
母性看護学演習
母性看護学実習
成人急性期看護学演習
成人慢性期看護学演習
成人急性期看護学実習
成人慢性期看護学実習
老年看護学演習
老年看護学実習Ⅱ
精神看護学演習
精神看護学実習

公衆衛生看護学実習Ⅲ
公衆衛生看護学実習Ⅱ
在宅看護学演習
在宅看護学実習

【いのちの連携】
医療専門職連携発展

3年次

災害看護学
リスクマネジメント論
感染看護学
家族看護学
看護倫理学
統合分野看護学

老年看護学実習Ⅰ

小児看護援助論Ⅱ
母性看護援助論Ⅱ
成人急性期間後援助論Ⅱ
成人慢性期看護援助論Ⅱ
老年看護援助論Ⅱ
精神病態治療学
精神看護援助論Ⅰ
精神看護援助論Ⅱ

公衆衛生看護学実習Ⅰ

在宅看護援助論Ⅱ
公衆衛生看護方法論Ⅱ
公衆衛生看護方法論Ⅲ
公衆衛生看護方法論Ⅳ
（学校保健）
公衆衛生看護技術演習Ⅰ
公衆衛生看護技術演習Ⅱ

【科学と実践】
キャリアデザイン実践
インターンシップ

2年次

基盤看護学実習Ⅱ

小児病態治療学
小児看護援助論Ⅰ
母性看護援助論Ⅰ
成人病態治療学Ⅰ
成人病態治療学Ⅱ
老年病態治療学
成人急性期看護援助論Ⅰ
成人慢性期看護援助論Ⅰ
老年看護援助論Ⅰ
精神看護学概論

公衆衛生看護学概論Ⅰ
公衆衛生看護学概論Ⅱ
（養護概説）
在宅看護援助論Ⅰ
公衆衛生看護方法論Ⅰ

【いのちを科学する】
いのちと生活Ⅲ
（生活と危機管理）
健康と社会の仕組みⅠ
（保健福祉行政論）
健康と社会の仕組みⅢ
（社会福祉論）

健康の回復促進Ⅰ
（病態治療学総論）
健康の回復促進Ⅱ
（薬理学）
いのちと生活Ⅱ
（疫学）
いのちと生活Ⅳ
（薬と危機管理）

実用
英会話Ⅱ

基盤看護技術論Ⅲ
（診療の援助技術）
基盤看護技術論Ⅳ
（看護過程）

小児看護学概論
母性看護学概論
母性病態治療学
成人看護学概論
老年看護学概論
発達分野看護学

在宅看護学概論
広域分野看護学

【科学と実践】
プロジェクト学習

実用
英会話Ⅰ

1年次

看護理論
基盤看護技術論Ⅰ
（生活の援助技術）
基盤看護技術論Ⅱ
（ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）

基盤看護学実習Ⅰ

基盤看護学概論

基盤分野看護学

【いのちを科学する】
いのちのしくみⅠ（生化学）
いのちのしくみⅡ（微生物学）
こころを科学するⅠ（発達心理学）
こころを科学するⅡ（人間関係論）
いのちと生活Ⅰ（栄養学）

【いのちの連携】
医療専門職連携導入

からだの構造と機能Ⅰ（解剖学）
からだの構造と機能Ⅱ（生理学）
健康と社会の仕組みⅣ（情報危機管理）

専門基礎科目

【人と文化】
人間の心理
文学と人生
生活と文化
人間と芸術
福祉学
命倫理学
世界から見た
日本の文化
銚子学
教育心理学

【歴史と社会】
日本の歴史
外国の歴史
政治の仕組
社会の構造
経済の仕組
生活と法律
日本国憲法
世界と日本

英語Ⅱ

【保体】
健康の科学
スポーツ実技

【科学と実践】
ﾘｽｸ危機管理論
教養特別講義
教育原論

英語Ⅰ

一般基礎科目